

スペイン・ポルトガルの旅

1996年2月

イベリア航空で Madrid 到着

我が人生をずっと残すつもりはないが記録があるからこのままにするのも勿体ないので 2025 年 1 月 26 日、日曜日、晴天の冬の陽光が二階の窓に差す昼前にそのノートを転記。14Mhz の OM さん達（103 歳の方との和文交信したというお話など）ののんびり口調の懐かしい話を（狸ワッち）聞きながら…。

この文書を読むときはまた違う心境で開くだろうか。

1996年2月25日

現地 Madrid 到着 4 : 30AM 時計の日本時間は 8 時間進んでいるので 12 時 30 分である。昨夜 10 時 30 分頃 Hotel Florida norte に到着。部屋に時計もなく不安で眠れず。熟睡できず、30 分ごとに時間を確認していた。鏡の前に立つが自分という人間を認められず。昨日は何度も慌てていた。総数 36 名という大人数のツアーである。添乗員の Nさんはさっさと進んでゆく。テンポが早い、「自信を持て」と自分にいい聞かす。目的はポルトガル・スペイン事情を眺めて自分の人生にプラスすること。

ホテルで感じたことは 1) 風呂の温度が低すぎる。2) 風呂/トイレが汚い 3) 暖房効かない。同行者は高齢者夫婦連れが多いこと、一人参加の男性は数名だけ。その理由は…12 日間仕事を休めるという条件 = 余剰人員でないと長期の旅には出ることは出来ないため。Madrid の空港からポルトガルへの飛行機は 8 時 15 分に出発。昨夜の疲れの取れないまま、飛び立って 20 分ほどして機内食が出た。到着するリスボンが見えてきたのは 08 : 55 であつという間だ。リスボンは曇りで 10 度 C、と機長のアナウンス。熊本名古屋間くらいだろうか、いやもっと近いか。新聞の見出しをみると「アメリカの経済ゆっくりスローダウンが始まった」政府高官の会議、他はボスニア情勢、ムスリム、クロアチア外交など。私はよく飛行機に乗ると翼近くの席が多い。翼がもげたとき一番先に知れるくらい…でも助からないけど。

2月27日 AM7 : 35

あと 30 分ほどでリスボン Novolte Hotel を出発予定

楽しいリスボンの自由時間を楽しんだ。地図 2 枚を頼りに 3 人（名古屋の 2 人）で市内を回った。

歩いたり、タクシー（510+チップ100esc）‥午後4時30分頃、ホテル到着。水道橋を撮影、市場でビール、ケーキとお茶（350esc）、昨夜熊本へ電話した5分ほどだったが幾らだろう。FAXは前払いいで1300escだった。あとは口力岬（ここで観光バスがベンツと衝突などハプニングがあったり、岬の郵便局で来たという証明書を貰ったり）、お城、教会を夜には哀愁あふれるファドを楽しんだが、それはガイドブックに乗っているので省略。そんな訳で快速でポルトガルにおさらばをした。

2月27日 午後11：55記載

ポルトガルからスペイン国境をこえてのバス移動の途上、オリーブ畠、草原、集落、古水道などを観た。昼食はレストランにて。宿泊はセビリアのホテル。HIPERCORで買い出し。テープなどを買う。夜はフラメンコ舞踊をみた。凄い動き、二人の歌い手、周りの手拍子、などウキウキするような気持ちで感動した。ホテルに帰って風呂に入ろうと蛇口をまわすが水が出ない。イタリアの学生の修学旅行生が騒がしい。夜遅くまで大声で騒いでいたので、なかなか眠れない。

2月28日

セビリアのホテルでは学生が喧しかった。朝食を食べあがってきて記入中。TV3chは忍者服部くんのあと「ドラえもん」が放送されている。表題は日本語そのまんま。「いつでも日記」「電話のおばけ」

グラナダ観光へ 花の小径で写真を撮る、散歩中に古本を売っていた2冊で500pst。アンダルシアのかセット、人形、絵はがきなど買う。

2月29日—3月1日

カルメンホテルに宿泊。3月になってしまった。花粉症状がひどい朝になった。今日から旅の後半戦となる。毎日沢山食べては観光に励む。自分にこんな体力が残っていたのかと自身で驚いている。

3月2日

Madridで2日目の夜を迎える。昨日は4人でビールを飲んだ。4800pst。トレドに観光へ行った。街ではギター弾きの学生の演奏を聴きながら夕食（リブ） 今日は別の店で3人（東京・名古屋・熊本）でビールを6000pstで。

3月3日（日）

午前中市内観光、午後セゴビア観光。プラド美術館へ。ゲルニカなどを観る。売店で小さなゲルニカを購入
夕食後3人で街中で珈琲を飲む。

3月4日（月）

Madrid からバルセロナへ飛行機で移動。到着したら迎えのバスが来ないので2時間ほど空港で待った。
連絡違いか？。ガウディの建造物見学。塔に登った。いつも写真で見慣れた建物なので感慨。写真を撮り
まくった。フィルム切れて売店で FUJI フィルム 1 本買う。ホテルのテラスにて白赤ワインを3人で飲みながら
スペイン最後の夜は旅の話題が多く出た。

3月5日（火）

4時半起床 5時15分荷物を出した。6時前10分あと30分で出発。早朝TVをつけると郷ひろ
み出演の映画をやっていた。アメリカ映画 カウボーイの話。スペイン語の吹き替えで全く違和感なし。
Hesperial Hotel を出ると旅は終わる。私は旅のことを忘れて又日常生活に戻るだろう。42の人生の
節目にこの旅をどう総括しようか。

＜40年経ってからの感想＞ 当時の同僚に対しては12日も職場を開けてすまなかつたが、20年勤務
の褒美が「休暇」だった。今はどうなっているか分からぬがその貴重な休暇を使っての30年前の旅は楽し
かった。娘が今年40となるというので…娘は10歳頃だったか。当時の私の年齢間近だ。みんな多忙な
中で共働きの妻にはご免というしかない。断捨離の時期を迎えて断片的な記録は捨てようと思ったが、自
分の過去の遺物を生きて居る間いつでも見える私のアーカイブに放り込んでおこうと思う。